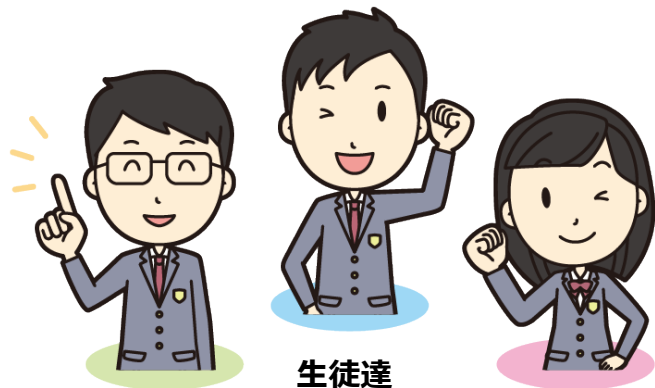


3 税をどのように集めるか考えよう



～とある高校の教室～
放課後、三人の生徒と先生が「税」について話をしているようです



先生。ニュースで「課税の公平が～」と言っていたけど、「課税の公平」って何ですか？

「課税の公平」か。
みんなでちょっとしたシミュレーションをしながら考えてみようか。



どんなシミュレーションかしら。ちょっと楽しみ！

A、B、C三人が住んでいるこの町に、図書館を建てることになりました。
そのためには3,000万円が必要です。三人からどうやって集めたらよいと思いますか？



そんなの簡単だよ。三人から3,000万円集めるから、一人1,000万円ずつでしょ？（I案）

うん、それなら平等だね。



3 税をどのように集めるか考えよう

(単位：万円)



でも、所得って人によって違うし、負担することが難しい人もいるんじゃない？三人の所得をそれぞれ決めて考えてみましょうよ。



いいね。
それで考えてみよう。

	所得	I 案	II 案	III 案	? 案
A	7,000	1,000	3,000	1,500	
B	2,500	1,000	0	1,500	
C	500	1,000	0	0	
合計	10,000	3,000	3,000	3,000	3,000

Cの立場になって考えると…。Cは500万円しか所得がないのだから1,000万円払うのは無理！一番所得の多いAに全部払ってほしいな。(II 案)



Aが一人で3,000万円全額払っても4,000万円残るから、生活に困ることはないなあ。でも、一人で全額払うっていうのはなあ。

それなら、AとBの二人で半分ずつってどう？(III 案)



AとBで1,500万円ずつ？Cだって、図書館を使うはずよね。それなのに全く払わなくていいの？

さて、どんな方法にすればみんなが「公平だ」と感じることができるのだろう？これを読んでいるみんなも、考えてみよう！



3 税をどのように集めるか考えよう

ワーク5 課税の公平

- あなたは、A、B、Cのうち誰の立場になって考えますか？（ ）の立場
- I 案、II 案、III 案を踏まえて、あなたの案を考えてみてください。
- グループになって、ほかの人達の□の考えを聞いてみましょう。
- 三人からどのように集めたらよいか、グループで話し合い、意見をまとめてみましょう。